

只見高校・卒業式

県立只見高校の卒業式は3月1日に行われ、21人（うち山村教育留学生5人）が卒業を迎えました。式では、卒業生を代表し三瓶楓さんが卒業証書を受け取った後、鈴木莉子さんが在校生を代表し送辞を送りました。卒業生代表答辞は、岩佐優生さんが務め、「一人一人個性があって感じることは違います。自分のペースで進んでいってください」と在校生を激励し、「生まれてから側にいてくれてありがとう」と家族への感謝を伝えました。



▲代表して証書を受け取った三瓶さん



▲卒業おめでとうの笑顔



▶答辞を述べた岩佐さんは、山村教育留学生として只見高校に入学し、生徒会長を務めました

感謝の心と新たな希望を胸に学び舎を巣立つ

3月、町内の高校・中学校・各小学校の卒業式と各保育所の満了式が行われ、子どもたちが学び舎などを巣立ちました。今年度の卒業式は、一定の条件はあるもののマスクを外して卒業式等を挙行することができ、お互いの表情を目に焼き付けることができました。式中には、子どもたちが家族や先生、お世話になった人に感謝の想いを伝え、恩師や仲間、学び舎に別れを告げました。



▲答辞を述べる増田さん

只見中学校・卒業式

只見中学校の卒業式が3月13日に行われ、28人が学び舎に別れを告げました。式では、星英典校長先生から激励の言葉とともに全員に卒業証書が手渡され、その後三瓶蒼有介さんが在校生を代表して送辞を送りました。卒業生を代表して増田司さんが「只見中学校を在校生の皆さんに託します。さらに素敵で魅力的な学校にしてください。このクラスで過ごした3年間はとても充実した楽しい毎日でした。これからもずっと友達です。今までありがとう」と答辞を述べました。

▲修学旅行で訪れた和歌山県串本町の串本観光協会長の宇井さんから届けられた「大漁旗」に見守られ、校舎を旅立ちました



小学校・卒業式



▲明和小学校卒業生の皆さん

3月23日、町内各小学校の卒業式が行われ、只見小4人、朝日小4人、明和小11人がそれぞれ卒業を迎えました。

只見小では、卒業生全員が伊藤校長先生から卒業証書を受け取り、中学校生活の目標や将来の夢などを発表しました。その後、1人ずつ家族に花を手渡し、感謝の言葉を伝えました。卒業生の別れの言葉では、6年間の思い出とともに後輩や先生、保護者に感謝の言葉が述べられました。



▶朝日小学校卒業生のみなさん



▶只見小学校卒業生の皆さん

令和4年度 卒業式・満了式

保育所・満了式

3月27日、町内各保育所の満了式が行われ、只見保育所2名、朝日保育所10名、明和保育所5名の園児がそれぞれ満了となりました。

明和保育所では、証書を受け取った園児たちが保護者に向けて「パパ、ママ、いつも楽しく遊んでくれてありがとう！」など感謝を伝えました。最後は、花束を手に1人ずつ立派に退場し、保護者の皆さんが子どもたちの成長を肌で感じる満了式となりました。



▲只見保育所満了児の皆さん



▶明和保育所満了児の皆さん



▶朝日保育所満了児の皆さん